

第30回

ふるさとイベント大賞

Hometown Event Award



EVENT MAP



東京名物神田古本まつり

大賞

内閣総理大臣賞

1 東京都 千代田区・神田神保町古書店街 靖国通り沿い・神保町交差点周辺

東京都千代田区・神保町で毎秋開催される、日本最大級の古書イベント。靖国通り沿いにワゴンが並び、文学から専門書まで幅広い古書と出会う。本の街・神保町の日常と魅力を体感できる、秋の風物詩である。

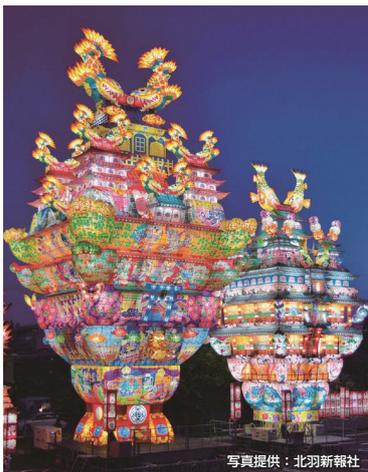
最優秀賞

総務大臣表彰

能代七夕「天空の不夜城」

2 秋田県 能代市・国道101号 (市役所入口交差点～通町交差点)

まちに元気を取り戻すため、2013年に約1世紀の時を超えて大型灯籠を復活したのが始まりです。城郭灯籠としては日本一の高さ(24.1m)を誇り、お囃子や太鼓、引手とともに闇夜を練り歩く幻想的な姿は圧巻です。



写真提供：北羽新報社

島の子ども応援まつり

6 沖縄県 石垣市・新栄公園

人口5万人の石垣市で1万人以上を集客。子ども関係のみで構成するというシンプルな発想で大きな効果を生み出しています。地域全体で子どもの活動を支えることを目的に民間ボランティアで継続運営。



ふるさとキラリ賞

優秀賞

2025千歳・支笏湖氷濤まつり

3 北海道 千歳市・支笏湖温泉



「千歳・支笏湖氷濤まつり」は、厳寒の支笏湖の風土を活かした氷の祭典です。日本有数の透明度を誇る支笏湖の湖水を、スプリングラーで骨組みに吹きかけ、大小さまざまな氷のオブジェを創りあげます。昼はナチュラルブルーに輝き、夜は色とりどりのライトに照らされ、幻想的な世界を演出します。

あやせ工場オープンファクトリー

4 神奈川県 綾瀬市・7月 綾瀬工業団地エリア、9月 岡岡エリア、10月 上土棚・与蔵山下エリア、11月 早川・さがみ野・小園エリア

「あやせ工場オープンファクトリー」とは、綾瀬市内4エリアの工場が集積する地域にて、普段は立ち入り禁止の工場を開放し、工場見学や体験ができる、「ものづくりのまちあやせ」の日常を体感することができるイベントです。

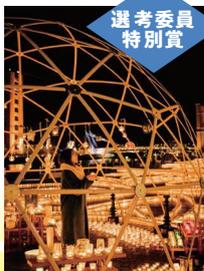


本庄市高校生プロジェクト「七高祭」合同文化祭

7 埼玉県 本庄市・カミケンシルクドーム (本庄総合公園体育館)



高校生とまちの人が出会い、まちが動き出す！学校や学年の垣根を越え、市内全6校から集まった高校生が、まちをフィールドにつながる場「七高祭」。ワークショップやフィールドワークを通じ、地域と関わり生まれた成果を合同文化祭で発表します。



選考委員特別賞

関門海峡キャンドルナイト

8 福岡県 北九州市・山口県 下関市・(門司港エリア) 親水広場・ハーバーデッキ・栄町銀天街(15日のみ)、プレミアホテル門司港 (下関エリア) 唐戸地区(下関市市民広場(市役所前)、亀山八幡宮、旧下関英国領事館、田中絹代ぶんか館、下関南部郵便局、旧宮崎商館、唐戸はれて横丁) (下関駅前エリア) エキマチ広場(大丸下関店、シーモール下関) しものせき市民活動センター

小倉・門司港・下関。関門海峡を囲む街々が、数万本のキャンドルの灯火で結ばれる幻想的な二日間。歴史ある街並みが柔らかな光に包まれ、冬の夜を温かく彩ります。大切な人と、心に残る光の散歩道へ。

主催



一般財団法人

地域活性化センター

Japan Center for Regional Development

第30回

ふるさと イベント大賞

Hometown Event Award

ひとの想いがイベントを創る

「ふるさとイベント大賞」は、全国各地で数多く開催されている地域の活力を生み出すイベントを表彰し、全国に向けて紹介することによって、ふるさとイベントの更なる発展を応援することを目的に設けられた賞です。今回で30回目を迎え、第29回までに、219の個性豊かなイベントを表彰しています。

今後も、ふるさとイベントの創造・発展を促すことで、地域固有の風土・伝統・暮らしを守るとともに、地域に対する愛着と誇りを育み、内外との交流につながる地域の活性化を目指しています。

主催 ● 一般財団法人地域活性化センター

後援 ● 総務省、内閣府、全国知事会、全国都道府県議会議長会、全国市長会、全国市議会議長会、全国町村会、全国町村議会議長会、地域づくり団体全国協議会、日本商工会議所、全国商工会連合会、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟、NHK、全国地方新聞社連合会

● 応募対象イベント

令和6年7月1日から令和7年6月30日までに市区町村（広域を含む）で開催されたイベントとします。

※オンライン開催も対象とします。また、規模の縮小や内容の変更などがある場合でも、イベントを継続することで、そのイベントが本来持つ意味を伝えようとして創意工夫を凝らしているものも含まれます。

以下のいずれかに該当するイベントは対象外とします。

- ①直近の5回（第25回～第29回）に大賞、最優秀賞等各賞を受賞したイベント
- ②継続性がなく1回の開催のみで終了するイベント

● 選考過程

イベント主催団体から、市区町村等を通じ、都道府県へ応募書類を提出していただきました。今回の応募総数は124件でした。応募されたイベントについては、イベントプロデューサーや学識経験者等により構成される「第30回ふるさとイベント大賞選考委員会」において、厳正な審査を行い、受賞イベントを決定しました。なお、選考にあたり、別紙の選考基準を基にイベント内容を総合的に判断しました。

● 選考基準（評価のポイント）

企画

- 地域資源を積極的に活用している。（地域資源：風土、産業、食文化、伝統文化、歴史、特産物、建築物・構造物など）
- 独創性に溢れ、新たな地域の魅力を創り出している。
- 多くの人を惹きつける魅力がある。
- 魅力を増すための創意工夫が顕著である。

効果

- 地場産業の振興や観光客誘致など、経済的な波及効果がある。（低予算でも波及効果が大きいなど）
- 地域の知名度アップに貢献している。
- 地域住民の郷土意識の高揚に繋がっている。
- 伝統文化の継承や新しい文化の創造に繋がっている。

運営

- 地域住民が積極的に参加している。（参加することに誇りを持っている。）
- 地域の内外を問わず、交流や連携が行われている。
- 継続して開催されており（継続される見込みがあり）、将来の発展性が見られる。

選考委員長



きたがわ フラム
株式会社アートフロントギャラリー
代表取締役会長

今回の授賞イベントは、それぞれが独特のつくりあげをしていてバラエティに富んでいたと思います。

「東京名物 神田の古本まつり」は、あまりにも当たり前な東京催事になっていて注目されることはなかったのですが、考えてみれば、まさに

ふるさとのイベントとして広がりがある関係者総出の見本のようなもので、グランプリにふさわしいものでした。「能代七塔<天空の不夜城>」は名前通りのスペクタクルで、「2025千歳・支笏湖水濤まつり」はその風景の凛烈さが想像されるものでし、「あやせ工場オープンファクトリー」は産業と地域がー帯になった面白さがありますし、「トチノアカリ」も子供たちのアイデアがふるさとの伝統産業を照らすもので好感がもてました。子どもと言えばふるさとキラリ賞の「島の子ども応援まつり」も本庄市の高校生による「七高祭」も子どもがキッカケになっていて新しい潮流を感じます。「関門海峡キャンドルナイト」は島国日本の壮大なイベントとして一見したく思いました。

撮影：Kanemoto Rintaro

選考委員



うちハラ トモヒサ
内原 智史
有限会社
内原智史デザイン事務所
代表取締役



かえで ちさと
楓 千里
國學院大學
観光まちづくり学部
教授



かくた みつよ
角田 光代
作家
【撮影：垂見健吾】



よしもと みつひろ
吉本 光宏
合同会社
文化コモンズ研究所
代表



しのだ けいいち
篠田 恵一
NHK
コンテンツ制作局
制作主幹



なかじま まさひろ
中島 正信
全国知事会
事務総長



おんだ かずお
恩田 馨
総務省
大臣官房
地域力創造審議官



はやし しょう
林崎 理
一般財団法人
地域活性化センター
理事長

お問い合わせ



一般財団法人
地域活性化センター
Japan Center for Regional Development

地域創生・情報広報グループ 地域創生課 担当：竹村

TEL 03-5202-6136 FAX 03-5202-0755 E-mail event@jcrd.jp